

# 建設業社会貢献活動事例集

平成19年度



## はじめに

わが国経済は、一部に弱さはみられるものの引き続き回復基調にあるといわれておりますが、原油価格の高騰や米国におけるサブプライム住宅ローン問題を背景とする金融資本市場の混乱により、景気の先行きには不透明感が漂っております。

しかも、地域別、業種別には大きな格差があり、特に、地方の中小・中堅建設業者は長年にわたる公共事業費の大幅な削減や入札契約制度改革に伴う価格競争の激化によるダンピング受注の頻発等により、これまで以上に厳しい経営環境に直面しております。

また、近年の公共事業不要論や構造計算書偽装問題、談合事件等により、国民・社会からの信頼が損なわれるなど、建設業界に対する世論は大変厳しいものがあります。

しかしながら、地域の建設企業は、地域経済を支える基幹産業として、良質な社会資本整備の提供と雇用の維持・確保はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、各種のふれあい活動による地域住民との交流など、様々な社会貢献活動を実践していますが、その姿はマスコミ等において報道される機会も非常に少なく、また、自ら多くを語らない地域建設業界特有の体質もあって、必ずしも国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、毎年 7 月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開しております。

本事例集は、本会が平成 19 年度に実施した「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」において顕彰した各建設業協会・支部並びに会員企業が行った優れた社会貢献活動を事例集として取りまとめたものであります。

本書が地域建設業界の果たしている社会的責任と、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の真摯な社会貢献活動を理解いただくとともに、欧米諸国に比べて脆弱である我が国の社会基盤の計画的・継続的な整備の必要性について、関係各位に広くご理解いただく一助となれば幸甚であります。

平成 20 年 3 月

社団法人 全国建設業協会

## 目 次

1. 報告書の概要.....	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について.....	2
(1) 開催趣旨.....	2
(2) 行事の開催.....	2
(3) 功労者表彰.....	6
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —.....	8
3. 1 代表的な活動事例.....	8
3. 2 協会・支部等の活動事例.....	15
(1) 災害復旧支援活動.....	16
(2) 防災支援活動.....	21
(3) 建設業ふれあい活動.....	22
(4) 環境美化活動.....	23
(5) 環境保全活動.....	28
(6) 防疫活動.....	29
(7) 社会福祉活動.....	30
(8) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動.....	31
3. 3 会員企業の活動事例.....	33
(1) 災害復旧支援活動.....	34
(2) 防災支援活動.....	36
(3) 建設業ふれあい活動.....	37
(4) 環境美化活動.....	40
(5) 環境保全活動.....	43
(6) 社会福祉活動.....	45

参考 リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業Vol.2」(縮小版)エ  
ラー! ブックマークが定義されていません。

## 1. 報告書の概要

建設業界、特に地域の建設企業は、公共投資の大幅な減少と過剰供給構造の中で、かつてない厳しい経営環境に直面しています。

また、近年、建設業界における不祥事、談合事件の摘発等が相次ぎ、建設業に対する国民・社会からの信頼が大きく損なわれている状況にあります。

このような厳しい経営環境下にあっても、地域における基幹産業である建設企業は、良質な社会資本整備を提供する使命とともに、雇用の維持・確保はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、各種のふれあい活動による地域住民との交流を行うなど、様々な社会貢献活動を実践しています。

本会では、こうした地域建設業界の取組みを広く国民・社会にアピールし、建設業及び公共事業に対する正しい理解と認識を得るため、平成 18 年度より毎年 7 月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、平成 19 年度も 7 月 27 日、東京・経団連会館において中央行事を開催するとともに、各都道府県建設業協会と連携し、様々な活動を展開しています。

本書は、平成 19 年度の中央行事において、都道府県建設業協会・支部並びに会員企業における社会貢献活動功労者表彰（全建表彰規程に準拠）における受賞 70 事例の中から、当日事例発表を行った石川・愛媛・熊本県協会における代表的な 3 事例と合わせて 34 事例を分類・整理し、紹介します。

紹介事例は、各都道府県建設業協会・支部等の活動 20 事例、地方協会会員企業の活動 14 事例の二つに大別し、さらに、①災害復旧支援活動、②建設業ふれあい活動、③環境美化・保全活動、④社会福祉活動等のジャンルごとに整理し、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の取り組み等、様々な社会貢献活動の内容を、「平成 19 年度建設業社会貢献活動事例集」として取りまとめたものです。

また、巻末には、この月間の開催に合わせて作成したリーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 2」（縮小版）を掲載しています。

## 2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

### (1) 開催趣旨

地域の建設企業は、良質な社会資本整備の提供はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、地域住民との交流など、様々な社会貢献活動を実践しています。しかしこうした取組みは、マスコミ等において報道される機会も非常に少なく、必ずしも国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、毎年7月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開しています。

平成19年度は、第2回目となる「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」を7月27日に東京・経団連会館にて開催し、また、各都道府県建設業協会・支部においても、災害復旧支援活動、環境美化活動等の各種催しや奉仕活動等が実施されました。

### (2) 行事の開催

平成19年度「建設業社会貢献活動推進月間」において、本会並びに都道府県建設業協会の開催した行事、実施した活動は次のとおりです。

#### ○全国建設業協会の中央行事

行事名	建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日時	平成19年7月27日(金) 14:00~19:00
場所	経団連会館 12階ダイヤモンドルーム
内容	(1) 開会 ・会長挨拶 (社)全国建設業協会会長 前田 靖治 ・来賓ご挨拶 国土交通省建設流通政策審議官 中島 正弘氏 (2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式 ①規定第3条関係(協会・支部等)功労者表彰(38件) ②規定第4条関係(会員企業)功労者表彰(32件) (3) 建設業社会貢献活動事例発表 ①(社)鳳輪建設業協会 ②(社)熊本県建設業協会建築部会 ③(社)愛媛県建設業協会女性部会 (4) 記念講演会 『建設業における社会貢献活動とコンプライアンス』 講師:(財)さわやか福祉財団理事長 堀田 力 先生
参加者	約200名(国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関連団体及び一般関係者)

○都道府県建設業協会の開催した活動

協会名	活動内容	実施日	参加人数等
青森県	「全国建設青年の日」に県内統一事業として、青年部会主催により施工現場周辺の一斉清掃活動	7月28日	7支部 113社 971人
宮城県	①こども病院夏祭りイベントで模擬店やヨーヨーの出店、花火大会等のボランティア活動	7月27日	仙台青年会 16人
	②広瀬川クリーンキャンペーン	8月1日	宮建青年会 58人 NPO 15人 自治体 19人 一般 6人
	③フォーラム「東北は訴える」開催	7月30日	約1,300人
福島県	①「未来へ続け！わたしたちの道 道路展2007」への参加と公共事業の必要性、社会貢献活動等をPR	8月28日	2,600人
	②道路清掃活動（各支部で実施）	8月10日	業界 2,500人
茨城県	「道の日」道路清掃（空き缶拾い、ミラー、ガードレール清掃等）	8月10日	12支部 2,000人
栃木県	河川・道路の環境美化活動（宇都宮・足利・芳賀・芳賀青年部の4支部で実施）	7月6～28日	業界 290人 自治体 30人
東京都	①「耐震診断・改修のススメ」の無料配布	5月～	3,000冊
	②防災意識の高揚、防災知識の普及と啓発を目的に防災展を開催し、建設業をPR	8月21～24日	自治体・団体 50,000人
	③建設業への理解と安心・安全なまちづくりのPRを目的に建設技術展示会を開催	10月24～ 26日	4,500人
山梨県	①山梨県・県土建設写真コンクール現場撮影会と入賞作品の展示	7月26日	業界 10人 一般 30人
	②河川・道路・公園等の環境美化活動（協会・8支部で実施）と学校等の砂場の入れ替えやグラウンド整備	7月1～30日	業界 1,000人 一般 100人 自治体 1,000人
長野県	「長野県建設技能フェア2007」を開催し、建設業界の災害復旧活動等をPR	6月23・24日	一般 14,000人
岐阜県	①環境を守る建設業としての取組みの一環として「（県下一斉）打ち水大作戦」の実施	8月10日	業界・一般 15,000人
	②年間を通じて花飾り運動等の環境美化活動を実施		
静岡県	①道路・河川等環境美化活動（下田・伊豆・伊東・伊豆の国市・沼津・富士・清水・浜松・天竜の9協会で実施）	7月～8月	809人
	②親子現場見学会の開催（熱海・清水・静岡・袋井・浜松・天竜の6協会で実施）	7月～8月	318人
	③富士教育訓練センターにて専門高校生サマー体験学習の実施（次代の建設業界を担う技能者としての資質向上を図る）	7月31日～ 8月3日	20人
	④きにゃんね大仁夏まつり花火大会の会場設営等	7月22日～ 8月2日	業界 36人 一般 60人 中学生 20人
	⑤高校生の現場実習（インターンシップ）の実施（現場における実践的知識・技術の実習）	7月30日～ 8月1日	企業 9社 高校生 21人
	⑥親子ふれあい下水道教室	7月28日	410人

協会名	活動内容	実施日	参加人数等
愛知県	「ナゴヤ・げんき・まつり」への参加（夏祭りを介して建設業の仕事・建機等を紹介）	7月24・25日	業界 250人 一般 9,700人 自治体 50人
三重県	①環境美化活動（河川敷・公園清掃）支部・自治体等5団体で実施	7月10～27日	約340人
	②環境美化活動（河川・道路清掃）（伊勢・桑員・尾鷲・海山・亀山・鈴鹿・四日市支部・伊賀の支部で実施）	6月～12月	約3,500人
	③スズカフェスティバル	8月5日	業界 12人
	④子どもSOS活動（伊勢支部）	通年	
富山県	「全国青年の日」事業として地域ボランティア活動を各支部で実施		
	①新潟中越沖地震災害復旧支援活動（仮設住宅への支援物資配布、倒壊物の撤去等）	8月18日	青年部 36人
	②海岸・河川・公園等の環境美化活動（入善・魚津・立山・富山・福野支部で実施）	7月21日～ 8月23日	青年部 332人 小学生 45人
	③北陸の自然&都市共生フォーラム2007	11月6日	400人
石川県	①青年委員会による新潟中越沖地震ボランティア活動	8月18日	100人
	②中心市街地活性化イベントとして第2回「かなざわど真ん中！まちをきれいに親子で昆虫ラリー」を開催（金沢協会）	7月28日	保護者 92人 子供 127人
福井県	①一般市民及び高校生を対象とした現場見学会及び関連企業視察見学会（坂井郡協会・会員企業）	7月13日	業界 3人 一般 28人 自治体 1人
	②延命地藏祭りへの物資等の支援（坂井郡協会）	7月22日	業界 2人 一般 200人
	③河川清掃活動（鯖江協会）	7月23日	業界 50人
兵庫県	①河川敷の一斉清掃活動（加印・西神戸・東神戸支部で実施）	7月7・23日	業界 156人
	②「建設ふれあい祭り」（建機試乗・木工教室等）を開催（兵庫建設青年会）	7月28日	業界 88人 一般 300人
鳥取県	①海岸清掃美化活動（中部支部）	8月末	業界 200人
	②日野川河川清掃活動（日野支部）	7月30日～ 8月3日	業界 25社 200人
	③第9回和牛博会場周辺の清掃活動（西部支部）	6月30日	業界 50人 一般 120人
島根県	①交通遺児の育成事業に対する寄付（青年部10周年記念事業）	7月30日	
	②国道まるごとクリーンアップ作戦の実施（青年部会）	7月31日	業界 240人 一般 20人
岡山県	①「川をきれいにする運動」における環境美化活動（新見支部）	7月1日	業界 34人 一般 9,000人 自治体 50人
	②子供たちを犯罪等から守るため、「子ども110番連絡所」を会員企業100社と学校等に配置し、看板を設置（美作支部）	7月24日	業界 6人 自治体 7人

協会名	活動内容	実施日	参加人数等
愛媛県	①クリーン愛媛運動（宇摩・新居浜・西条・今治・松山・上浮穴・伊予・喜多・八幡浜・西予・宇和島地方・南宇和の支部で実施）	7月11～30日	業界・自治体 1,075人
	②交通茶屋（交通安全運動）（各支部女性部会）	8月9日～ 9月28日	業界・自治体 640人
福岡県	①「勤マルの日」への参加・ボランティア活動として各イベントに協力	7月29日	100人
	②献血活動（3地区で実施）	11月～12月	
	③河川清掃		1,000人
	④CSR活動勉強会開催・インターンシップへの協力		
佐賀県	①県と協会との協力協定に基づき、高校総体への草花プランター等の運搬・設置など協力	7月26～28日	業界 200人 車両 100台
熊本県	①環境美化活動（道路清掃・不法投棄パトロール・2次災害危険箇所の調査）（各支部・部会で実施）	7月24日	業界 1,450人 自治体 150人

※本会が実施したアンケート調査の回答をもとに取りまとめています。



### (3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（38 団体）及び会員企業（32 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰されました。

#### ○功労者表彰受賞者 —協会・支部等（規程第3条関係）—

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(社)長野県建設業協会 諏訪支部	長野県
	(社)長野県建設業協会 伊那支部	長野県
	(社)揖斐建設業協会	岐阜県
	(社)石川県建設業協会	石川県
	(社)羽咋郡市建設業協会	石川県
	(社)鳳輪建設業協会	石川県
	(社)七尾鹿島建設業協会	石川県
	(社)滋賀県建設業協会 高島支部	滋賀県
	(社)京都府建設業協会 京丹後支部	京都府
	(社)長崎県建設業協会 長崎支部	長崎県
	(社)鹿児島県建設業協会 宮之城支部	鹿児島県
	(社)沖縄県建設業協会 中部支部宜野湾分会	沖縄県
防災支援活動	(社)仙台建設業協会	宮城県
建設業ふれあい活動	(社)石川県建設業協会 建設青年委員会	石川県
環境美化活動	(社)青森県建設業協会 青年部会	青森県
	(社)岩手県建設業協会 千厩支部青年部会	岩手県
	宮城県建設業青年会	宮城県
	(社)栃木県建設業協会 宇都宮支部	栃木県
	(社)群馬県建設業協会	群馬県
	(社)群馬県建設業協会 桐生支部	群馬県
	協同組合熱海建設業協会	静岡県
	(社)島田建設業協会	静岡県
	(社)長崎県建設業協会 五島支部	長崎県
	(社)熊本県建設業協会 菊池支部	熊本県
環境保全活動	(社)郡上建設業協会	岐阜県
防疫活動	(社)茨城県建設業協会 水戸支部	茨城県
	(社)茨城県建設業協会 太田支部	茨城県
	(社)茨城県建設業協会 鉾田支部	茨城県
	(社)茨城県建設業協会 土浦支部	茨城県
	(社)茨城県建設業協会 常総支部	茨城県
	(社)茨城県建設業協会 境支部	茨城県
	(社)岡山県建設業協会 高梁支部	岡山県
社会福祉活動	(社)福島県建設業協会 郡山支部	福島県
	(社)新潟県建設業協会 青年部会	新潟県
	(社)愛媛県建設業協会 女性部会	愛媛県
	(社)熊本県建設業協会 建築部会	熊本県
建設業の啓蒙・イメージアップ活動	(社)富山県建設業協会	富山県
	(社)兵庫県建設業協会	兵庫県

○功労者表彰受賞者 —会員企業（規程第4条関係）—

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	(株)阿部土建エンタープライズ	岩手県
	葛巻土建(株)	岩手県
	(株)佐藤建設	岩手県
	(株)阿部建設	岩手県
	(有)遠藤建設	岩手県
	(株)伏光組	広島県
	二豊建設(株)	大分県
防災支援活動	(株)柏崎組	青森県
	佐藤建設(株)	宮城県
建設業ふれあい活動	(株)佐賀建設	岩手県
	南建設(株)	岩手県
	(株)寒風	秋田県
	むつみ造園土木(株)	秋田県
	大協建設(株)	長野県
	(株)平尾工務店	兵庫県
	(株)大歳組	広島県
環境美化活動	南建設(株)	北海道
	(株)沢田建設	青森県
	(株)阿部和工務店	宮城県
	(株)川島組	静岡県
	中村建設(株)	静岡県
	中部土木(株)	愛知県
	井上建設(株)	広島県
	平和建設(株)	広島県
	山陽建設(株)	広島県
環境保全活動	(株)武山興業	宮城県
	池原工業(株)	群馬県
社会福祉活動	(株)田中組	北海道
	日成建設(株)	北海道
	(株)堀口組	北海道
	大坂建設(株)	岩手県
	長谷川建設(株)	兵庫県

### 3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —

#### 3. 1 代表的な活動事例

ここでは、平成 19 年度に顕彰した活動事例のうち、代表的なものとして「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」で事例発表された次の 3 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-03	石川県	(社)石川県建設業協会、 (社)鳳輪建設業協会、 (社)羽咋郡市建設業協会 (社)七尾鹿島建設業協会	能登半島地震の復旧支援活動
A7-02	愛媛県	(社)愛媛県建設業協会 女性部会	交通茶屋と清掃奉仕活動
A7-03	熊本県	(社)熊本県建設業協会 建築部会	高齢者・障害者居住家屋の補修と献血活動

#### 事例 A1-03 : 石川県

#### 能登半島地震の復旧支援活動（(社)石川県建設業協会、(社)鳳輪建設業協会、(社)羽咋郡市建設業協会、(社)七尾鹿島建設業協会）

平成 19 年 3 月 25 日午前、能登半島沖を震源とする M6.9、最大震度 6 強の大地震が発生した。石川県建設業協会では、直ちに「能登半島地震石川県建設業協会災害対策協力本部情報連絡室」を設置し、被災の情報収集や連絡調整に当たり、県内各地区協会の会員は、建設業の機動力を発揮して各所で復旧支援活動を展開した。

#### ■(社)石川県建設業協会

石川県建設業協会は、県の要請により、地震直後の 3 月 28 日から 29 日にかけて、「応急危険度判定士」延べ 43 名を七尾市に派遣し、被災建物の危険度判定作業を支援した。

一方、青年委員会では、会員によるボランティア活動として、4 月 5 日には会員 43 名とトラック 5 台を輪島市のクリーンセンターに送り出し、散乱している廃家電製品の分別・処理作業にあたった。翌 4 月 6 日には、第 2 陣 42 名と富山県建設業協会青年部会からの応援 41 名及びダンプ 4 台を加えて、行政やボランティアの支援の手が届いていない山あいの集落（仁岸地区、阿岸地区）に入り、被災家屋の瓦れき、ゴミ等の収集運搬作業を行った。こうした支援活動は、高齢化の進んだ地元住民から大いに感謝された。



廃家電製品の分別・処理



被災家屋の瓦れき、ゴミ収集

## ■ (社) 鳳輪建設業協会

能登半島地震で震度 6 強を記録した輪島市では、死者 1 人、負傷者 111 人、家屋の全半壊 1,573 棟、断水 5,500 戸、停電全世界帯など大きな被害となった。また、各地でがけ崩れや陥没等が発生し、国道 249 号線をはじめとする幹線道路や能登有料道路の機能は完全に停止した。



家屋の倒壊（輪島市）



国道 249 号線の陥没

こうした中、当地区を管轄する鳳輪建設業協会の会員は、自らが被災したにもかかわらず、「不眠・不休」で道路の確保に取り組むなど、地域住民の生活環境の保全に大きく貢献した。

まず、地震が発生した 25 日から 26 日にかけて公共土木施設の被害状況調査及び点検を行った。翌 27 日には、夜半からの大雨が予想されたため、危険箇所を再点検して、緊急出動体制を整えた。

29 日には協会内に災害対策本部情報連絡室を設け、会員企業が保有する提供可能な機材（重機、オペレーター等）や応急工事資材（大型土嚢、シート等）を調査し、関係機関と対応を協議した。その後も県土木事務所からの要請で、集水井 122 箇所を再点検するなど、二次災害に備えた。

4 月に入ってから、土木事務所の被害状況調査への応援派遣、砂防危険箇所 170 箇所の毎日の点検、被災地の草刈り・清掃作業などを行いつつ、最も重要な幹線道路の応急復旧工事には、他の協会会員とともに 24 時間体制で取り組み、早期開通を果たすことができた。



能登有料道路の崩落



国道 249 号線応急復旧工事の夜間作業



能登有料道路の応急復旧工事

### ■ (社)羽咋郡建設業協会

羽咋郡建設業協会では、地震発生直後に災害対策本部を設け、県土木事務所との災害協定に基づき、会員各社で分担して、管内公共土木施設に対するパトロールや応急対策等に取り組んだ。

地震発生翌日の26日には、河川35箇所のパトロール(9社)、海浜沿いの自転車専用道路の安全確認、港湾漁港2箇所のパトロール(3社)を、27日には河川の亀裂部分へのブルーシート養生(1社)等を行った。続く28日には、海岸工事現場14箇所のパトロール(7社)を行ない、29日には砂防、急傾斜地8箇所のパトロール(7社)を行うとともに、異常個所には応急措置を講じた。また、4月上旬には、堤防の隠れた亀裂等を見つけるために、河川14箇所の草刈り(4社)を行うなど、地域住民の安全、安心に大きく貢献した。



応急復旧工事の夜間作業



がけ崩れ箇所の応急措置

### ■ (社)七尾鹿島建設業協会

能登半島東岸の七尾市においても、震度6強を記録し、負傷者123人、家屋の全半壊262棟など大きな被害となり、各所で道路の陥没、崩落等が発生した。

七尾鹿島建設業協会では、県土木総合事務所、県道路公社、七尾市、中能登町との災害協定に基づき、会員各社が調査や応急対策に当たった。

地震発生後の25日から27日にかけて七尾市災害対策本部に会員1名を派遣したほか、道路の陥没などの被害調査及び応急処置(25日～26日)、河川、海岸の崩壊・ひび割れ等調査(25日～26日)を行った。また、県認定の応急危険度判定士資格を持つ7名が、市職員とともに市内全域の被災建物を調査した(26日～28日)。



能登有料道路の復旧工事

能登と加賀を結ぶ大動脈である能登有料道路では、同協会管内でもいたる所で崩落して通行不能となっており、ライフライン確保のためにも早急に復旧する必要があった。これに対して、会員は一致団結して24時間体制で復旧工事に取り組み、早期の開通を実現した。

## 交通茶屋と清掃奉仕活動（社）愛媛県建設業協会女性部会

愛媛県建設業協会女性部会は、事業主とは違った立場から企業経営の健全なる運営を図るとともに、建設業の社会的向上、福利厚生の実現を図ることを目的に、昭和45年、協会内の「婦人部会」として設立された。その後、平成13年には、会員企業の女子職員等も含めて現在の「女性部会」に改組された。県下の12支部すべてに女性分会があり、現在の会員総数は約800名である。

女性部会では、設立当初からボランティア活動として、独自に交通茶屋や清掃奉仕活動を行っていたが、平成12年度からは当時の建設省が制定した「道の日」（8月10日）に合わせて、県下各地で一斉に交通茶屋を実施することとした。

交通茶屋は、ドライバーに交通ルールの順守、安全運転の励行を呼びかけながら、飲み物、菓子、タオル、安全小物等を配布する運動で、平成18年度は県下18箇所で開催した。配布したタオルは、愛媛県特産の今治タオルに交通安全スローガンを印刷した特注品で、交通死亡事故抑止の願いが込められたものである。交通茶屋は、女性部会員のほか、警察署員、市職員、交通安全協会職員、また地元の保育園児とその父母など、500名以上の参加を得て、地域の恒例イベントとして定着している。



交通茶屋で配付したタオル



女性部会による交通茶屋

一方、環境美化活動としては、毎年7月の「クリーン愛媛運動強調月間」に、協会並びに青年部会員とともに清掃奉仕活動を実施している。平成18年度は、協会関係者1,500名が参加して、道路、河川、公園など16箇所除草、ゴミ拾い、側溝土砂除去、カーブミラー磨き等を行った。



クリーン愛媛運動強調月間の清掃奉仕活動

愛媛県建設業協会女性部会では、これらの活動のほか、毎年の献血運動への参加をはじめ、古着や古布を回収して身障者施設へ届けたり、スポーツ大会の参加者から雑巾を集めて社会福祉協議会へ寄付するなど、女性ならではの視点からの地域貢献活動に積極的に取り組んでいる。

高齢者・障害者居住家屋の補修と献血活動 (社)熊本県建設業協会建築部会

平成 15 年、「国民生活に一層密着したより良い公共建築を目指すための日」として「公共建築の日」(11 月 11 日)が創設された。熊本県建設業協会建築部会は、それまで建築を記念する日がなかったため、この日を「建築の日」と位置付け、本業の建築技術を活用したボランティア活動で地域に貢献することを思い立った。

具体的な活動内容を定めるにあたって考慮したのは、平成 13 年に部会内に組織した緊急防災隊の存在である。これは、万一の災害時に公共建築物の応急復旧活動を支援するために設けた組織で、現在は建築関連 22 団体との相互協定のもと、熊本県と大規模災害時における支援協定を締結している。そこで、公共支援のための緊急防災隊とは別に、「建築の日」には民間支援の活動を行うことを考え、県民の暮らしに役立つ支援策として、高齢者や障害者の住宅を対象とした家屋補修のボランティアを行うこととした。

家屋補修の内容は、建具の調整、手すりの取付け、段差の調整など、高齢者や障害者にとっての不具合を解消するための修繕・補修とし、より多くの方に対応できるよう 1 戸あたり半日程度の作業を目安としている。

実施に当たっては、この活動の広報を兼ねて、あらかじめ新聞広告を掲載するとともに、市町村の福祉担当窓口を通じて家屋補修の希望世帯を募り、福祉関係者と共に現地調査する。その結果をもとに部会内の検討委員会で審議して対象家屋を選定し、担当企業を決める。担当企業は、事前に資材等を準備し、「建築の日」の朝、ボランティア隊として集結して出発式を行った後、一斉に現場に出かけて作業を行うこととした。



「建築の日」ボランティアの新聞広告

平成 18 年度は、補修希望のあった 88 軒の家屋を調査し、このうち大規模修繕等が必要と判断された家屋を除く 45 軒がボランティア補修の対象となった。



「建築の日」ボランティア隊出発式



結集したボランティア隊





トイレ手すりの取付け



階段手すりの取付け



天井板の補修

また、建築部会では、以前から毎年6月の「安全大会」において献血活動を行っていたが、平成17年からは、「建築の日」にも献血活動を行うこととし、関連企業等にも献血を呼びかけている。熊本は日本赤十字発祥の地であり、献血活動が盛んであるが、冬場には血液が不足気味となるため、11月の献血活動は医療機関からも高く評価されている。

これらの「建築の日」ボランティア活動は、地元メディアにも数多く取り上げられており、建設業界のイメージアップにも大きく貢献している。



「建築の日」の献血活動

### 3. 2 協会・支部等の活動事例

各地の建設業協会や支部・部会は、台風や豪雨等の災害発生時における迅速な復旧活動や防災活動など、地域の安全・安心確保に重要な役割を果たしています。一方、各種催し等による住民とのふれあい、河川・道路清掃や植樹などの環境美化・保全、地域のパトロールなど、さまざまな社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

平成 19 年度に顕彰した協会・支部等の活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 17 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	長野県	(社)長野県建設業協会 伊那支部	長野豪雨災害の救援復旧活動
A1-02	岐阜県	(社)揖斐建設業協会	揖斐川町地すべり災害の復旧活動
A1-04	京都府	(社)京都府建設業協会 京丹後支部	丹後町土砂崩れ災害の復旧活動
A1-05	鹿児島県	(社)鹿児島県建設業協会 宮之城支部	鹿児島県北部豪雨災害の復旧活動
A1-06	沖縄県	(社)沖縄県建設業協会 中部支部宜野湾分会	中城村地すべり災害の復旧活動
A2-01	宮城県	(社)仙台建設業協会	「街の防災サポーター」宣言
A3-01	群馬県	(社)群馬県建設業協会	「チビッコスポレク 2006」の開催
A4-01	青森県	(社)青森県建設業協会 青年部会	施工現場周辺の一斉清掃活動
A4-02	岩手県	(社)岩手県建設業協会 千厩支部青年部会	道路清掃と「道の日」PR活動
A4-03	群馬県	(社)群馬県建設業協会	「道路クリーン作戦」の一斉実施
A4-04	静岡県	(社)島田建設業協会	「大井川流木クリーンまつり」への参画
A4-05	長崎県	(社)長崎県建設業協会 五島支部	流木の回収・運搬作業
A5-01	岐阜県	(社)郡上建設業協会	ISO14000 認証の共同取得と環境改善活動
A6-01	岡山県	(社)岡山県建設業協会 高梁支部	鳥インフルエンザ防疫作業
A7-01	福島県	(社)福島県建設業協会 郡山支部	「安全・安心のまち建設隊」パトロール
A8-01	富山県	(社)富山県建設業協会	建設産業に関するパンフレットの学校配布
A8-02	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会	建設業の社会貢献広報活動

## (1) 災害復旧支援活動

協会及び支部等の災害復旧支援活動として、次の5事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	長野県	(社)長野県建設業協会 伊那支部	長野豪雨災害の救援復旧活動
A1-02	岐阜県	(社)揖斐建設業協会	揖斐川町地すべり災害の復旧活動
A1-04	京都府	(社)京都府建設業協会 京丹後支部	丹後町土砂崩れ災害の復旧活動
A1-05	鹿児島県	(社)鹿児島県建設業協会 宮之城支部	鹿児島県北部豪雨災害の復旧活動
A1-06	沖縄県	(社)沖縄県建設業協会 中部支部宜野湾分会	中城村地すべり災害の復旧活動

### 事例 A1-01 : 長野県

#### 長野豪雨災害の救援復旧活動 (社)長野県建設業協会伊那支部

平成18年7月の長野豪雨は、死者・行方不明11人、床上浸水1,000棟余など大きな被害をもたらした。中でも伊那市、箕輪町、辰野町では11箇所ですり流が発生して4人が亡くなり、天竜川の堤防決壊で多くの住民が避難する事態となった。

長野県建設業協会伊那支部では、いち早く緊急出動体制を整え、各地で救援復旧活動を展開した。土石流現場では、住民の避難誘導及び行方不明者の捜索活動に協力するとともに、二次災害を防ぐための大型土嚢の設置、流路の掘削、家屋の土砂出し等に取り組んだ。

天竜川の堤防決壊に対しては、増破防止と堤内地浸水防止のため、各所から消波ブロック3,000個を運び込み、5日間昼夜兼行で応急工事を行った。

伊那支部会員のこうした活動は、行政機関並びに地域住民から大いに感謝され、地域建設業の重要さを再認識してもらうことに大きく貢献した。



土石流 (箕輪町)



土石流災害の復旧 (箕輪町)



天竜川の応急復旧工事

揖斐川町地すべり災害の復旧活動（社）揖斐建設業協会

平成 18 年 5 月、岐阜県揖斐川町東横山地区の揖斐川左岸で、崩落土石 50,000 m<sup>3</sup> に達する大規模な地すべりが発生し、揖斐川の川幅の 3 分の 2 を埋塞した。

揖斐建設業協会では、地すべり前の 4 月からこの箇所では小規模な崩壊や亀裂が発見されていたため、関係機関との災害協定に基づき協会内に対策本部を設置していたが、地すべり発生後は直ちに本部を現地へ移し、24 時間体制での応急復旧活動を開始した。

雨量の多い時期にもあたり、復旧活動は困難を極めたが、大型重機 12 台を投入して昼夜 3 交替で作業を進めた結果、災害発生から約 1 ヶ月で河道掘削と根固ブロックの据え付けを完了し、崩落土砂による二次災害を未然に防ぐことができた。



揖斐川町の地すべり発生

揖斐建設業協会のこうした迅速な対応に対して、岐阜県知事から感謝の意が示された。また、その功績により「平成 19 年度土砂災害防止月間」（国土交通省主催）において国土交通大臣の土砂災害防止功労者表彰を受賞した。



地すべり災害の復旧工事



応急復旧完了



国土交通大臣の土砂災害防止功労者表彰状

(写真：国土交通省越美山系砂防事務所ホームページ、岐阜県パンフレット)

## 丹後町土砂崩れ災害の復旧活動（(社)京都府建設業協会京丹後支部）

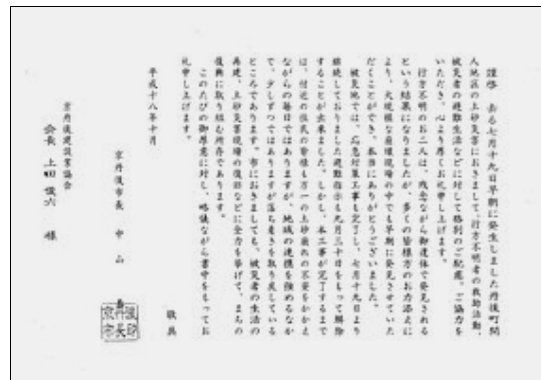
平成 18 年 7 月 19 日早朝、梅雨前線がもたらす豪雨により、京丹後市丹後町間人地区の傾斜地で高さ 30m、幅 40m、長さ 100m にわたる土砂崩れが発生し、多数の民家が押しつぶされ、2 人が亡くなるという大災害となった。周囲に民家が密集しており、また、二次災害発生の危険性が高いことから、レスキュー隊、自衛隊、地元消防団等による救助活動も困難を極めた。

京都府建設業協会京丹後支部は、災害発生後直ちに緊急体制を整え、救助活動や被災者の避難生活を支援するとともに、京丹後市並びに京丹後土木事務所と連携して応急復旧活動に取り組んだ。現地は墓地公園であることから、土砂排出に際して墓石確認等が必要で、慎重な作業が要求されたが、支部及び会員企業が一丸となって取り組むことで、災害発生から 8 ヶ月間で復旧することができた。

同支部は、日頃から防災への取組みを積極的に進めており、平成 12 年には支部敷地内に防災倉庫を建設して防災用品の備蓄を始めた。また、地元小中学生から防災啓発ポスターを募集し、優秀作品を表彰して市内各所に掲示するなど、防災意識の啓発活動にも意欲的であり、こうした姿勢は行政・地元市民からも高く評価されている。



土砂崩れ災害



京丹後市長からの感謝状



防災倉庫



防災備蓄品

## 鹿児島県北部豪雨災害の復旧活動（社）鹿児島県建設業協会宮之城支部

平成 18 年 7 月、記録的な雨量となった鹿児島県北部豪雨では、河川の氾濫が相次ぎ、死傷者 16 人、家屋の全半壊 1,500 棟、道路のがけ崩れ 1,100 箇所など大きな被害が発生した。

鹿児島県建設業協会宮之城支部では、関係機関との災害協定に基づき、全会員に出動を要請し、会員は直ちに地区パトロールや土嚢設置に向かった。また、被害の大きい地区に対して復旧班を編成し、流木や土砂の撤去、被災住宅の家具搬出、ゴミの除去等、本格的な復旧作業を開始した。しかし、道路の一部通行止めによる大渋滞や、道路上に放置された車や家具など、復旧活動を妨げる問題が発生した。これに対して宮之城支部は、町及び関係機関との合同対策会議を設置して問題解決にあたるなど、強力なリーダーシップを発揮した。



豪雨による河川流木の滞留

自らの事務所も被災した会員が多い中で、建設業の機動力を活かして、会員が一人丸となって取り組んだ宮之城支部の復旧活動に対して、鹿児島県及びさつま町から感謝状が贈られている。



橋上の流木除去



被災ゴミの撤去



被災ゴミの集結



さつま町長からの感謝状

## 中城村地すべり災害の復旧活動（(社)沖縄県建設業協会中部支部宜野湾分会）

平成 18 年 6 月、沖縄県各地で長雨による土砂崩れや地盤沈下が発生した。中城村北上原では大規模な地すべりにより、村道・県道が崩落した。その後も崩落は続き、土砂は現場の下方に位置する国道沿いの安里集落に迫り、さらに長雨が続けば集落をのみ込み、国道まで達する勢いであった。

このような状況下、沖縄県中部土木事務所では、災害現場において雨水流入遮断や水抜き、土嚢設置対策を講じていたが、当初敷き詰めた大型土嚢が決壊し、土塊が集落に押し寄せる事態となったことから、沖縄県建設業協会中部支部宜野湾分会に協力を要請することになった。

要請を受けた宜野湾分会は、沖縄総合事務局と締結していた災害復旧支援協定に伴うネットワークを活用して、直ちに大型土嚢 10 個と小型 850 個を手配し、民家への土砂流入防止対策を講じた。同分会による対策は、被害の拡大を防ぎ、地元住民に安心感を与え、高い評価を受けるとともに、沖縄県中部土木事務所からも、その迅速な対応に対して謝意が表された。また、災害協定に伴って構築したネットワークが、実際に有効に機能することが証明される結果となった。



中城村北上原の地すべり災害



土嚢設置による土砂流入防止対策

## (2) 防災支援活動

協会及び支部の防災支援活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A2-01	宮城県	(社)仙台建設業協会	「街の防災サポーター」宣言

事例 A2-01：宮城県

### 「街の防災サポーター」宣言（(社)仙台建設業協会）

仙台建設業協会は、平成3年、宮城県沖地震の再来に備え、仙台市との間で「大災害時における応急措置の協力に関する協定」を締結した。さらに、地震発生直後、交通・通信網が遮断される中で、協会員自らの判断で人命救助などの緊急対応が必要との認識から、平成15年、仙台市連合町内会長会に対して「震災時地域支援宣言」を行った。

この宣言は、仙台市内に常時数百箇所存在している会員企業の工事現場の従業員が、災害時には支援隊を編成し、「街の防災サポーター」として、工事用の重機や資機材を用いて、現場周辺の住民の救命・救出活動を支援するというものである。具体的には、パワーショベルなどによる瓦礫の除去と人命救出、緊急車両の通路確保、現場の常備用品によるけが人の応急手当などを想定しており、そのための救助訓練も行っている。

いざという時にこうした活動をスムーズに進めるためには、日ごろから地域住民に理解してもらうことが大切であり、各々の工事現場には「街の防災サポーター」と書かれた黄色い立看板を設置している。また、協会のある宮城県建設産業会館内には、災害時に地域住民に提供するための生活用品や救護用品が備蓄されており、これらの活動について新聞・テレビ等においてアピールすることで、建設業界に対する一般市民の理解促進及びイメージアップにも大きく貢献している。



「街の防災サポーター」立看板



備蓄品の紹介チラシ



### (3) 建設業ふれあい活動

協会及び支部の建設業ふれあい活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A3-01	群馬県	(社)群馬県建設業協会	「チビッコスポレク 2006」の開催

事例 A3-01：群馬県

#### 「チビッコスポレク 2006」の開催（(社)群馬県建設業協会）

群馬県建設業協会は、幼稚園・保育園児を対象としたスポーツフェスティバル「チビッコスポレク」を毎年開催し、園児たちに夏休みの楽しい思い出を提供している。

12回目となる「チビッコスポレク 2006」（平成 18 年 8 月）は、群馬県総合スポーツセンターにて参加園児 1,250 人、父兄を含めた総来場者 3,500 人を集めて開催され、盛り沢山の競技に園児たちが挑戦した。このイベントの参加者は年々増加しており、地域の恒例イベントとして定着している。

また、会場には、建設業協会の各支部で行った災害復旧等のボランティア活動を紹介するパネルを展示し、建設業の地域貢献をアピールする機会ともなっている。



準備体操

チビッコスポレク 2006 の案内



競技風景



建設業のボランティア活動パネル展示

#### (4) 環境美化活動

協会及び支部の環境美化活動として、次の5事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A4-01	青森県	(社)青森県建設業協会 青年部会	施工現場周辺の一斉清掃活動
A4-02	岩手県	(社)岩手県建設業協会 千厩支部青年部会	道路清掃と「道の日」PR活動
A4-03	群馬県	(社)群馬県建設業協会	「道路クリーン作戦」の一斉実施
A4-04	静岡県	(社)島田建設業協会	「大井川流木クリーンまつり」への参画
A4-05	長崎県	(社)長崎県建設業協会 五島支部	流木の回収・運搬作業

#### 事例 A4-01 : 青森県

##### 施工現場周辺の一斉清掃活動 ((社)青森県建設業協会青年部会)

青森県建設業協会青年部会は、平成2年設立当初より、建設業界や公共事業に対する社会の誤った認識を払拭するとともに、建設産業従事者としての自覚と責任を再確認すべく、道路清掃や草刈り等のボランティア活動を実施してきた。

平成17年度からは、この活動を、「全国建設青年の日」(7月28日)における県内統一事業「施工現場周辺の一斉清掃」として展開することにした。

「施工現場周辺の一斉清掃」は、県内全支部の会員所属事業所の施工現場約300箇所、周辺概ね500メートル前後の清掃奉仕活動を一斉に行うもので、新聞・放送等の報道機関にも積極的にPR活動を行うことで、地域に貢献する建設業を強力にアピールしている。



一斉清掃 (十和田市)



一斉清掃 (十和田市)



一斉清掃 (七戸町)

## 道路清掃と「道の日」PR活動（社）岩手県建設業協会千厩支部青年部会

岩手県建設業協会千厩支部青年部会は、毎年8月10日の「道の日」に合わせて、一関市川崎町の「道の駅かわさき」周辺で、清掃奉仕活動や道の日PR活動を実施している。

平成18年の清掃奉仕活動は、お盆の帰省や花火大会で訪れる人々に気持ちよく通行してもらえるよう、総勢120名が参加して、道の駅周辺の国道284号線などで花壇の草取り及びゴミ収集等を行った。PR活動としては、当日道の駅を訪れた方に道の日PRパンフレットと花の苗を配布して、道路の意義や重要性を広く訴えた。また同時に、建設業への理解を深めてもらうイベントとして、道の駅駐車場で建設フェアを開催し、高所作業車の展示と親子試乗体験を行った。

これらの活動は、県土木部千厩土木センターの協力のもと、一関市、地元商工会、交通安全協会、警察署などの参加も得て、毎年の恒例行事として地域に根付いており、道路のPRとともに建設業の理解を深める良い機会となっている。



国道沿いの花壇清掃



花の苗を配布



高所作業車試乗体験

## 「道路クリーン作戦」の一斉実施（社）群馬県建設業協会

群馬県建設業協会は、毎年5月30日の「ごみゼロの日」に、県下一斉に「道路クリーン作戦」を実施している。「道路クリーン作戦」は、社会資本の整備充実に直接携わる団体として、郷土美化の推進と魅力ある建設産業のイメージアップを図ることを目的に、昭和63年から毎年実施している道路清掃活動である。

19回目となる平成18年度は、国土交通省高崎河川国道事務所と群馬県県土整備局から協賛をいただき、土木事務所・市町村など関係機関と連携しながら、県内12支部で、約2,100名、車両約600台が参加して行われた。作業内容は、道路上のゴミ回収、障害物除去、路面清掃、カーブミラー清掃等で、総延長2,800kmの道路で不燃ゴミ約17トン、可燃ゴミ約15トンを回収した。

近年、環境に対する意識の高まりが見られる中で、群馬県建設業協会は、道路の清掃によって貴重な社会資本を大切に利用する精神を訴えることで、地域社会への貢献を果たしている。



「道路クリーン作戦」の新聞広告（部分）



「道路クリーン作戦」出発式（伊勢崎市）



道路上のゴミ回収作業

### 「大井川流木クリーンまつり」への参画（(社)島田建設業協会）

「大井川流木クリーンまつり」は、一般住民が参加して河原に散在している流木を拾い集め、また流木の利活用を体験することで、深刻化する流木問題について考えてもらうため、国土交通省静岡河川事務所を主体とした実行委員会が、毎年開催している行事である。

島田建設業協会は、このまつりに実行委員会の一員として参画しており、事前の準備、当日の安全確保、流木の回収・清掃など、重要な役割を担っている。

3回目の開催（初年度は、雨天のため事前作業のみ）となった平成18年度の「大井川流木クリーンまつり」は、10月15日、約300人が参加して大井川河口野鳥公園付近で行われた。

同協会は、事前準備として堆積流木量の調査をはじめ、参加者が拾い易くするための流木の切断作業、河原への進入路の設置作業等を行った。まつりの当日には、参加者の安全を見守るとともに、まつり終了後には、参加者が拾い集めた流木で一杯になって河原のあちこちに置かれているトンパック50袋以上を、ペイローダー等で回収して処分した。

準備を含めた3日間で、協会員延べ50人以上とタイヤローダー、ラフタークレーン、バックホー、チェーンソー等が多数動員されており、機動力を活かした建設業ならではの社会貢献活動となっている。



「大井川流木クリーンまつり」開会



住民による流木拾い



住民による流木拾い



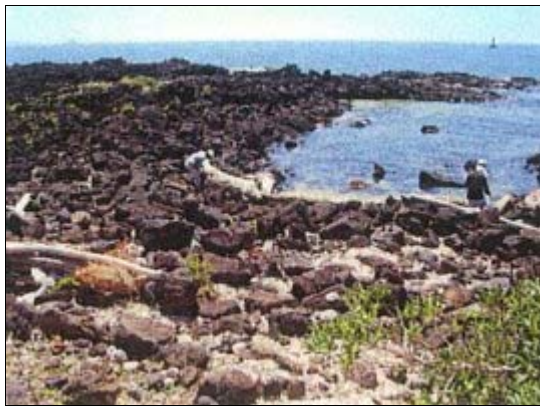
協会員による流木の回収

流木の回収・運搬作業（(社)長崎県建設業協会五島支部）

長崎県建設業協会五島支部下五島地区の理事企業 10 社は、平成 18 年 7 月、五島市沿岸に漂着した流木の回収・運搬作業を実施した。

現在、沿岸での漂着流木の問題が深刻化しており、その回収は、漁業被害対策として、また船舶の安全確保上も重要な作業である。

作業には、ダンプ 10 台、クレーン 2 台、チェーンソー等を用意し、運転手・作業員含め 36 名が参加した。それらの経費は、各企業で負担している。同支部ではこうした活動によって、地域に貢献する建設業をアピールしている。



流木の回収



流木の積込



流木の運搬



流木の集積

## (5) 環境保全活動

協会及び支部の環境保全活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A5-01	岐阜県	(社)郡上建設業協会	ISO14000 認証の共同取得と環境改善活動

事例 A5-01 : 岐阜県

### ISO14000 認証の共同取得と環境改善活動 ((社)郡上建設業協会)

郡上建設業協会は、長良川水系の源流域における治山・治水・生活基盤の確保等の公共土木工事に携わる会員が多く、環境への影響が大きいことから、環境への取組みを重要な課題と位置付けている。その取組みの一つとして、平成 14 年 12 月、会員企業全てが参加して環境マネジメントシステムの構築を開始した。

まず、協会理事長がトップマネジメントとして環境方針及び行動指針を策定し、法令順守はもとより、自主的な目標を定めて環境への負荷を積極的に減らすことを宣言した。これを受けて、協会及び会員事務所の紙ごみやエネルギー消費量の削減、工事現場での環境に関する自覚教育・啓蒙などに取り組んだ。こうした活動が認められ、翌平成 15 年 11 月には、国内では前例のない 51 社と 2 団体（郡上建設業協会及び郡上建設業協同組合）による ISO14001 共同認証を取得した。

その後も、平成 16 年には、郡上市及び各種団体で構成する「地域活性化協議会」に参加し、各地で桜やもみじの植樹活動を行っている。また、長良川での河川清掃活動は、平成 14 年から毎年継続して行っており、平成 18 年には会員企業と協会の従業員の約 1,000 名が参加した。

同協会のこうした取組みは、環境保護に貢献するとともに、地域の活性化にも役立っている。



植樹（郡上市八幡町）



河川清掃（長良川）



花壇整備（郡上市内）

## (6) 防疫活動

協会及び支部の防疫活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A6-01	岡山県	(社)岡山県建設業協会 高梁支部	鳥インフルエンザ防疫作業

事例 A6-01 : 岡山県

### 鳥インフルエンザ防疫作業（(社)岡山県建設業協会高梁支部）

平成 19 年 1 月 29 日、岡山県高梁市川上町の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。

岡山県建設業協会高梁支部は、岡山県備中県民局長より感染拡大を防止する防疫作業の協力要請を受け、直ちに支部会員に出動を要請した。作業内容は、養鶏場に通じる幹線道路の車両消毒ポイント 3 ヶ所（1 ヶ所は井原支部担当）における、通行車両の消毒作業である。この作業は、移動制限が解除されるまで 1 か月にわたって続けられ、会員全社が参加して昼夜交代の 24 時間体制で作業に取り組んだ。

また、発生養鶏場においては、備中県民局の指示の下、地元地区の会員 4 社が協力して建設機械・車両を投入し、仮設ハウスやテントの設営、焼却施設への鶏の運搬、汚染した鶏糞・飼料・卵等の埋却処理用穴掘り等の作業に従事した。

高梁支部会員の献身的かつ迅速な対応は、ウイルス蔓延防止に大きく貢献した。



通行車両の消毒作業



鶏糞等処分用穴掘り



## (7) 社会福祉活動

協会及び支部の社会福祉活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A7-01	福島県	(社)福島県建設業協会 郡山支部	「安全・安心のまち建設隊」パトロール

事例 A7-01：福島県

### 「安全・安心のまち建設隊」パトロール（(社)福島県建設業協会郡山支部）

福島県建設業協会郡山支部は、近年急増している子供への犯罪の防止に貢献しようと、平成16年3月、「安全・安心のまち建設隊」を発足して、「くまなくパトロール」を開始した。これは、子供への声かけや連れ去り事件の絶えない現状に対して、市内の至る所に点在している建設工事現場が防犯協力できるのではないかと支部役員のアイディアから生まれた活動である。

主な活動は、会員企業の車にステッカーを張って各地をパトロールすることであるが、人目につきにくい工事現場周辺も行き来するため、より効果的にパトロールできる。すでに恐喝被害現場を警察に通報するなどの具体的な成果もあげているが、パトロールの存在感を示すことによる心理的な犯罪抑止効果が大きい。

「安全・安心のまち建設隊」の当初の目的は子供への犯罪の防止であったが、3年目を迎えた現在では、安全で安心して生活できる地域社会を目標に、地元住民に対する防犯意識の啓発にも努めている。

また同支部は、毎月定期的に道路清掃や河川パトロールを行ったり、毎年献血量が不足する寒冷期に献血運動を行うなど、さまざまな社会奉仕活動に積極的に取り組んでおり、地域からも高い信頼を得ている。



パトロール看板



ステッカーをつけたパトロール車



警察署長からの感謝状

## (8) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動

協会及び支部の啓蒙・イメージアップ活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A8-01	富山県	(社)富山県建設業協会	建設産業に関するパンフレットの学校配布
A8-02	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会	建設業の社会貢献広報活動

### 事例 A8-01 : 富山県

#### 建設産業に関するパンフレットの学校配布 ((社)富山県建設業協会)

富山県建設業協会は、次世代を担う子供たちに、暮らしを守る身近な建設産業の役割や魅力を正しく理解してもらうために、小学生向けの建設産業PRパンフレットを作成し、県内の小学校5・6年生(約20,000名)に配布した。

このパンフレットは、同協会の青年部会が主体となって作成したもので、建設業の仕事内容、暮らしとの関わり、建設機械の種類、建設業Q&A等について、見開き6ページにまとめたものである。写真やイラストを多用し、漢字にはふりがなを振るなど、小学生の目線で読みやすいよう工夫されている。

パンフレットは、部会員が県内の全ての小学校へ直接持参して趣旨を説明した。また、希望があれば、協会役員を派遣して総合的な学習の時間や生活科の授業等で説明を行いたい旨を伝えた。

同協会は、公共事業や建設産業の重要性を正しく理解してもらうために、こうしたパンフレットの配布など、広報活動を積極的に展開している。



パンフレット配布



建設産業PRパンフレット「建設業って、何だろう?」(部分)

建設業の社会貢献広報活動 ( (社) 兵庫県建設業協会 )

兵庫県建設業協会は、各種のメディアを通じて、建設業のイメージアップ活動に積極的に取り組んでいる。

同協会は、平成 18 年の第 61 回国民体育大会 ( のじぎく兵庫国体 ) 及び第 6 回全国障害者スポーツ大会 ( のじぎく兵庫大会 ) のオフィシャルサポーターとして大会を盛り上げるとともに、地元紙の国体特集記事のページに、協会会員の災害復旧や社会基盤維持の取組みを紹介する広告を掲載し、建設業の重要性を訴えた。



のじぎく兵庫国体

また、地元テレビ局で 6 月から 10 月にかけて放送された国体関連番組の中で、災害時の応急復旧、全県一斉清掃、学生・生徒の工事現場実習、児童の工事現場見学、防災訓練時の震度体験など、協会の社会貢献活動を紹介する 15 秒 CM を延べ 18 回放映した。このテレビ局では、一般番組「経済ジャーナル」の中でも、業界トップインタビューとして、建設業協会の社会貢献について取り上げており、建設業界のイメージアップにつながっている。

さらに、兵庫県での開催となった第 26 回近畿高校総合文化祭 ( 平成 18 年 11 月 ) では、総合プログラム及びガイドブックに、協会の社会貢献活動の広告を掲載し、地域とともに生きる建設業の素晴らしさを次代を担う若者たちにアピールした。



テレビ CM ( サンテレビ )



文化祭ガイドブック広告



新聞広告 ( 神戸新聞 )

### 3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心の確保が最優先と考えて、災害時の復旧活動では常に中心的役割を果たしています。また、各社の特色を活かした地域とのふれあい活動や、環境美化・保全活動、社会福祉活動も活発に行われています。これらの活動は、地元住民にもたいへん好評で、建設業のイメージアップにもつながっています。

平成 19 年度に顕彰した会員企業の活動事例の中から、ここでは次の 14 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B1-01	岩手県	(株)阿部土建エンタープライズ	葛巻町豪雨災害の復旧活動
B1-02	広島県	(株)伏光組	広島県営水道事故による断水時の給水活動
B2-01	宮城県	佐藤建設(株)	消防団活動による地域防災支援
B3-01	岩手県	南建設(株)	地元小学校での建設業体験学習会の開催
B3-02	秋田県	(株)寒風	「寒風山石の彫刻フェスタ」の開催
B3-03	秋田県	むつみ造園土木(株)	「秋田グリーンサム倶楽部」による交流活動
B4-01	北海道	南建設(株)	橋の欄干を花で飾る活動
B4-02	青森県	(株)沢田建設	花いっぱい運動による環境美化活動
B4-03	静岡県	中村建設(株)	国道の清掃活動
B5-01	宮城県	(株)武山興業	ビオトープ「めだかの池」による保護活動
B5-02	群馬県	池原工業(株)	森林整備ボランティア活動への参加
B6-01	北海道	(株)田中組	交通遺児基金への継続的寄付活動
B6-02	北海道	日成建設(株)	交通安全啓発をはじめとする地域貢献活動
B6-03	兵庫県	長谷川建設(株)	子供 110 番パトロールなどの地域貢献活動

## (1) 災害復旧支援活動

会員企業の災害復旧支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B1-01	岩手県	(株)阿部土建エンタープライズ	葛巻町豪雨災害の復旧活動
B1-02	広島県	(株)伏光組	広島県営水道事故による断水時の給水活動

### 事例 B1-01 : 岩手県

#### 葛巻町豪雨災害の復旧活動 ((株)阿部土建エンタープライズ)

平成 18 年 10 月、岩手県を通過した低気圧は記録的な豪雨をもたらし、県北部の葛巻町を中心とした地域では、河川の氾濫や土砂崩れ等が広範囲で発生した。

葛巻町の(株)阿部土建エンタープライズ他 4 社は、災害発生に備えて 24 時間体制で社員を待機させ、2 時間毎にパトロールを行って予防措置を講じた。大雨洪水警報発令後は、直ちに重機等を動員して、橋の流出箇所での仮橋設置、通行止標識や臨時信号機設置等を行うとともに、土砂撤去や流水処理、ゴミや流木の処理等の作業に昼夜を問わず取り組み、ライフラインの確保に努めた。



土砂の流出 (葛巻町)

また、岩手県と岩手県建設業協会との災害協定に基づき、盛岡支部に応急復旧工事実施の要請があった際にも、(株)阿部土建エンタープライズ他 4 社は、直ちに大型土嚢設置等の応急措置を講ずるなど、迅速・適切に対応し、地域住民の生活と安全の確保に努めた。



通行止標識の設置



土砂の撤去作業

広島県営水道事故による断水時の給水活動（株）伏光組

平成 18 年 8 月 25 日、広島県営水道送水トンネル内の崩落事故で送水管が閉塞し、呉市・江田島市の大部分約 27,350 世帯で、長期に亘る完全断水が発生した。

広島市の(株)伏光組は、江田島市の高台に住む高齢者が、水を確保するのにたいへん苦勞しているとの報道を見て、早速現地に向かい、江田島市に支援を申し出た。その結果、大古地区の区民会長からの要請で、高台の一人暮らしの高齢者世帯を中心に給水活動を行うことにした。

翌朝、社員 4 人で支援隊を編成し、軽トラックとポリタンクを準備して、地元自治会、婦人会、民生委員と共同で、給水所から各世帯まで水を運搬して回った。

5 日間で、延べ 270 世帯に 4 トンの生活水と 600 本のペットボトルを供給し、地元住民の生活を支えた同社の活動に対して、大古区民会長から感謝状が贈られた。



給水所での取水



高齢者世帯への給水



家庭内注水



ペットボトルの積み込み



ペットボトルの配布



大古区民会長からの感謝状

## (2) 防災支援活動

会員企業の防災支援活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B2-01	宮城県	佐藤建設(株)	消防団活動による地域防災支援

### 事例 B2-01 : 宮城県

#### 消防団活動による地域防災支援 (佐藤建設(株))

佐藤建設(株)では、会社設立当時から役員・幹部社員に消防団経験者が多いことから、消防団員の雇用及び社員の入団について力を入れており、また、「地域に根ざした奉仕活動」の一環として、消防団活動にも積極的に協力している。

社員には、近隣での火災発生の際には直ちに出勤し、地元消防団が到着するまでの間、警防活動を行うなど、率先して緊急時に出勤するよう奨励しており、日頃から社員が消防団活動に参加しやすい環境づくりに努めている。

また、同社が所在している石巻市雄勝地区は、太平洋に面したリアス式海岸で、古くから津波による被害が発生しているため、水門・門扉が多数設置されている。津波警報等の発令時には、地元消防団がこれらの閉鎖作業に当たるが、昼間は団員数が不足して出勤が遅れるため、同社の事業所付近の水門・門扉については、社員が迅速に閉鎖作業を行い、被害の未然防止に貢献している。

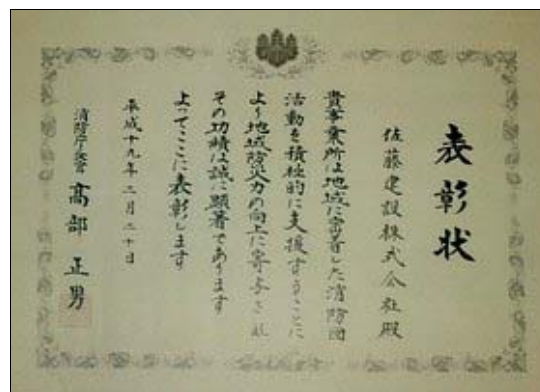
同社は、地域に密着した消防団活動を積極的に支援することにより、地域防災力の向上に寄与したことが認められ、消防庁の平成 18 年度「消防団地域活動表彰」の事業所表彰を受賞した。



文化財火災防御訓練



消火操法訓練



消防庁長官からの表彰状

### (3) 建設業ふれあい活動

会員企業の建設業ふれあい活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B3-01	岩手県	南建設(株)	地元小学校での建設業体験学習会の開催
B3-02	秋田県	(株)寒風	「寒風山石の彫刻フェスタ」の開催
B3-03	秋田県	むつみ造園土木(株)	「秋田グリーンサム倶楽部」による交流活動

#### 事例 B3-01 : 岩手県

##### 地元小学校での建設業体験学習会の開催 (南建設(株))

南建設(株)は、平成18年11月、自社施工の「小鳥谷道路改良工事」(発注者:国土交通省岩手河川国道事務所)の工事現場において、隣接する小鳥谷小学校の児童、教職員、保護者ら約30人を招待して、建設業の体験学習会を開催した。

これは、建設業の仕事が地域住民の生活に欠かせないもので、楽しくやりがいのある仕事であることを、若い世代に理解してもらおうと企画したイベントで、現場見学や各種重機の体験乗車など、参加者にもたいへん好評であった。

なお、同社は、その他の現場においても、現場終了後には耕作地の造成作業等を手伝うなどの地域貢献活動を通じて、建設業のイメージアップに努めている。



現場見学



ブルドーザ体験乗車



ダンプ体験乗車



バックホウ体験乗車



「寒風山石の彫刻フェスタ」の開催（株）寒風

（株）寒風は、平成 17 年度から、地元の男鹿石（寒風石）の魅力とその産地である寒風山の観光PRを兼ねて、「寒風山石の彫刻フェスタ」を開催している。

これは、石と向かい合いノミを振る彫刻家、生命が吹き込まれていく作品、その姿を見つめる人々の出会いと交流をテーマとしたイベントで、7月から8月にかけて、著名な彫刻家による公開石彫刻制作、男鹿石で自由に作品を創るワークショップ、彫刻と地域をテーマとしたフォーラム等が行われる。

平成 18 年度からは、男鹿市、秋田・男鹿両観光連盟、県内各観光機関の後援を受けて、寒風山における夏恒例の観光イベントとして注目されている。

将来は、同一イベントで制作された作品群を寒風山に配置して、彫刻の山、地域のシンボルとする構想である。



「寒風山石の彫刻フェスタ」案内



公開石彫刻制作



男鹿石を用いたワークショップ



第 1 回制作作品「花いちもんめ」



第 2 回制作作品「男鹿の風」

「秋田グリーンサム倶楽部」による交流活動（むつみ造園土木(株)）

むつみ造園土木(株)は、平成 7 年に社会貢献のための組織「フィロスあきた」を結成し、地域の海岸林「夕日の松原」の清掃活動を実施してきた。平成 14 年には秋田県も参画して「夕日の松原クリーンアップ」として規模が拡大している。

また、平成 12 年には、花と緑のネットワーク「秋田グリーンサム倶楽部」を組織した。倶楽部では、ホタルの放流と飼育技術指導を中心とした自然再生プロジェクト、古代米づくり体験プログラムなどのグリーンマネジメント、県内の農業高校生を対象としたインターンシップ、各種体験教室や展示を行うグリーンサムガーデンの運営など、地域住民に様々な交流の機会を提供している。

これらの活動が認められ、同社は、平成 18 年度「あしたのまちづくり・くらしづくり活動賞」の企業の地域社会貢献部門で内閣総理大臣賞を受賞した。



夕日の松原クリーンアップ活動



ホタルの放流



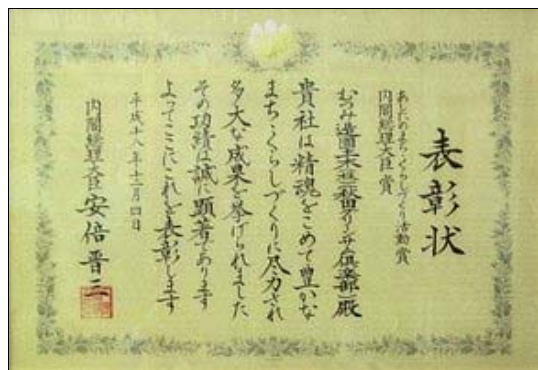
古代米づくり



高校生インターンシップ



グリーンサムガーデンでの展示会



内閣総理大臣からの表彰状

#### (4) 環境美化活動

会員企業の環境美化活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B4-01	北海道	南建設(株)	橋の欄干を花で飾る活動
B4-02	青森県	(株)沢田建設	花いっぱい運動による環境美化活動
B4-03	静岡県	中村建設(株)	国道の清掃活動

#### 事例 B4-01 : 北海道

##### 橋の欄干を花で飾る活動 (南建設(株))

南建設(株)は、観光都市網走を明るく爽やかなイメージとするために、市内の網走橋と新橋の欄干に毎年1000鉢のプランターを設置し、5月から10月まで色とりどりの花を咲かせて、市民や観光客の目を楽しませている。

平成15年度に始めたこの活動は、プランターの設置と撤去、毎日の水遣り、剪定、植替えなど、非常に手間がかかるが、花の咲く時期には、社長の陣頭指揮のもと社員総出で作業するなど、会社の恒例行事として定着している。また、作業中には通行する人々からも声が掛かり、地域との交流にも一役買っている。

同社の活動は、地元新聞にも取り上げられて注目を集め、ロータリークラブからは景観の向上に貢献したとして表彰状を贈られている。



プランターの設置



花の手入れ



欄干を飾る花鉢



ロータリークラブからの表彰状

## 花いっぱい運動による環境美化活動（株）沢田建設

青森県東北町では、明るく潤いのある地域づくりを目指しており、地域活動を促進して地域の連帯感を醸成するための事業として、町ぐるみの花いっぱい運動を提唱している。

（株）沢田建設は、従来より環境美化に努め、潤いのある地域づくりに協力してきたが、東北町による花いっぱい運動の開始後は、その趣旨に賛同して同事業に積極的に参加している。

事務所周辺には植栽プランターを配置し、県道沿いに所有する自社敷地の道路側には、マリーゴールドやサルビア等の花々2000本を植栽するなどして、地域の人々を楽しませている。また、単に花々を植栽するだけでなく、花壇の総合的な美観や周囲との調和、さらには育成等の管理面にも注意を払うことで、花いっぱい運動の推進に貢献している。

毎年11月の「東北町生き活きまつり」に合わせて開催されている「花いっぱい運動環境美化コンクール」においても、同社はここ数年受賞を重ねており、平成18年度は職域部門において最優秀賞を受賞した。



植栽準備



マリーゴールド・サルビアの植栽



植栽プランター



環境美化コンクール賞状

### 国道の清掃活動（中村建設(株)）

中村建設(株)は、地域社会への貢献を経営理念の一つに掲げており、会社創立 45 周年となった平成 12 年から、地域奉仕活動として国道 1 号線の「クリーン作戦」(清掃活動)を実施している。

この「クリーン作戦」は、毎年 6 月 5 日の環境の日に、浜松市内の国道 1 号線で、歩道や中央分離帯の清掃を行うもので、毎回 100 名以上の社員が参加している。特に同社に在籍する海外からの研修生にとっては、身近に環境美化活動の大切さを認識できる良い機会であり、その感想や体験談を「社内報」に掲載するなど、自己啓発の手段としても有効に活用している。

また、平成 17 年には、創立 50 周年記念の奉仕活動として、2006 年バスケットボール世界大会会場となる浜松アリーナ正面入口の路面を、独自に開発したウォータージェットにより洗浄して、関係者に感謝された。

同社は平成 17 年に、自然保護を目的とした NPO 法人「地球環境と自然を愛する会」を設立し、地域住民や小・中学生とともに活動を始めたが、「クリーン作戦」も、この年から同 NPO 法人の主催となって活動規模を拡大している。

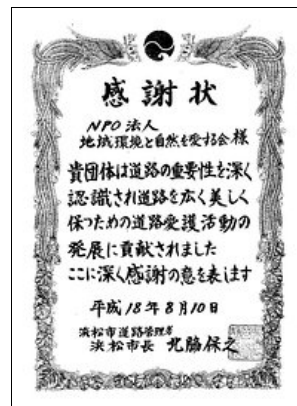
NPO 法人「地球環境と自然を愛する会」には、平成 18 年 8 月、道路愛護活動の発展に貢献したとして浜松市長から感謝状が贈られた。



国道 1 号線のクリーン作戦



浜松アリーナでの路面清掃



浜松市長からの感謝状

## (5) 環境保全活動

会員企業の環境保全活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B5-01	宮城県	(株)武山興業	ビオトープ「めだかの池」による保護活動
B5-02	群馬県	池原工業(株)	森林整備ボランティア活動への参加

### 事例 B5-01：宮城県

#### ビオトープ「めだかの池」による保護活動（(株)武山興業）

(株)武山興業は、“自然を愛し郷土づくりで地域に貢献する”との品質方針の下に、地元に生息している絶滅危惧種「黒めだか」を保護するためのビオトープ「めだかの池」を設置した。

「めだかの池」は、現場等で不要になった材料を用いて製作され、同社所有施設に併設するかたちで現在2箇所設けられている。池の周囲には北上川の流木で作ったベンチを置くなど、訪れる人のために気を配っており、お年寄りが孫を連れて散歩に訪れるなど、地域住民の散策時の憩いの場、交流の場として親しまれている。

また同社は、20年前から、毎年梅雨入り前に平呂木沢川の堆積土砂の撤去と草刈り・清掃を行うなど、河川清掃活動にも積極的に取り組んでおり、行政や地域住民に感謝されている。



牧野巣ビオトープ「めだかの池」



長塩谷ビオトープ「めだかの池」



平呂木沢川の堆積土砂撤去

### 森林整備ボランティア活動への参加（池原工業（株））

池原工業(株)の主力事業は、ダム建設関連工事、森林土木工事、治山・治水工事である。こうした工事では、本工事はもちろんのこと、工事用道路や仮設備のためにも、森林伐採や切土・盛土が必要となり、最小限とはいえ自然環境を犠牲にせざるを得ない。そこで、少しでも自然環境保全のために役立ちたいと考えた池原工業(株)は、社内で有志を募って、群馬県林業技士会が主催する森林整備のボランティア活動に参加することにした。

この活動は、毎年9月第三日曜日の「森林ボランティアの日」に、安中市の小根山森林公園「ふれあいの森」で、スギ人工林の間伐や枝条片付け等をボランティア作業で行うもので、森林整備による地球温暖化防止や「森林ボランティアの日」のPRなどを目的に、同技士会が平成17年度から実施している。小根山森林公園は、国内外の有用樹種の研究用に整備された試験林で、一般の人々の自然学習の場ともなっている。

平成18年度のボランティア活動には、同社から20人が参加するなど、活動の中心メンバーとして期待されている。また、その活動は新聞等にも紹介され、建設業の社会的地位の向上にも寄与している。



小根山森林公園での間伐作業



枝条片付け



ボランティア活動参加者

## (6) 社会福祉活動

会員企業の社会福祉活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B6-01	北海道	(株)田中組	交通遺児基金への継続的寄付活動
B6-02	北海道	日成建設(株)	交通安全啓発をはじめとする地域貢献活動
B6-03	兵庫県	長谷川建設(株)	子供110番パトロールなどの地域貢献活動

### 事例 B6-01 : 北海道

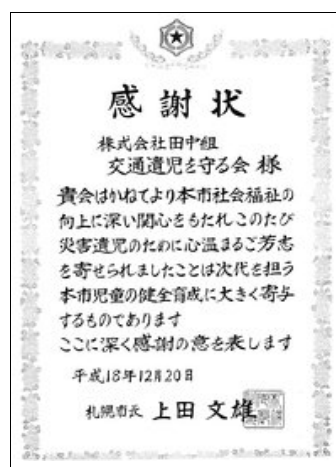
#### 交通遺児基金への継続的寄付活動 ((株)田中組)

(株)田中組の役職員は、交通事故死者数が増えている北海道にあって、事故で一家の大黒柱を失った家族への手助けができればと、昭和50年に「交通遺児を守る会」を設立した。会社もこの会の活動に協力し、毎年12月になると、全役職員から寄せられた義援金に会社拠出金を加えて、札幌市をはじめとする本・支店所在地の交通遺児基金等に寄付している。

この活動による寄付金は、平成18年までの32年間で、役職員からの義援金約2,000万円、会社拠出金約1,500万円を合わせて総額3,500万円に上り、該当する自治体からも数多くの謝意が寄せられている。



札幌市災害遺児基金への寄付金贈呈



札幌市長からの感謝状



旭川市長からの感謝状



函館市長からの感謝状



## 交通安全啓発をはじめとする地域貢献活動（日成建設(株)）

日成建設(株)は、地域に愛される企業を目指し、様々な活動に取り組んでいる。

身近な活動としては、近隣の小学生の通学路となっているJRの踏切2箇所、注意看板を設置し、毎月15日の「道民交通安全の日」には、社員が参加して通行車両に安全運転を呼びかけている。また、毎年10月の赤い羽根共同募金には、社員による街頭募金活動など、全社を挙げて協力している。市民が身近な公園や道路の里親になって美化を進める「あしべつし環境美化里親制度」にも登録しており、毎月一回、担当区域の道路約1kmの一斉清掃を実施している。

地域行事への参加にも積極的であり、毎年9月の芦別神社例大祭の町内神幸祭では、自社敷地を御旅所として提供して玉串奉奠執行を準備し、神輿担ぎ手の接待所の設営及び運営も担当している。

8月に開催される1万本のたいまつローソクを使った光のイベント「キャンドルアート」には、実行委員会の一員として参画し、イベント内容の企画から、メインアート設置斜面の草刈り、ローソク設置、点灯式に参加した子供たちの世話まで、多くの業務に関わっている。この「キャンドルアート」の会場となるカナディアンワールド公園の整備は、毎年春から夏にかけて市民ボランティアで実施されるが、同社からも有志が多数参加している。

その他にも、地元高校の「調べ学習」において、建設業に関する講義や現場見学の機会を提供するなど、様々な活動を通じて地域とのつながりを深めている。



踏切での交通安全啓発活動



里親制度による道路清掃活動



光のイベント「キャンドルアート」



カナディアンワールド公園の花壇整備

子供 110 番パトロールなどの地域貢献活動（長谷川建設(株)）

長谷川建設(株)は、CSR活動の一環として、「子供 110 番」パトロールなどの地域貢献活動に積極的に取り組んでいる。

「子供 110 番」パトロールは、多発する事故や犯罪から子供たちを守るために、地元企業が分担して地域をパトロールするもので、同社からは 2 名が参加している。なお、兵庫県警察本部による 100 日間無事故・無違反運動「チャレンジ 100」にも毎年参加しており、全社員一丸となって無事故・無違反を達成している。

地域の環境美化活動にも熱心に取り組み、平成 18 年 9 月には、全社員が参加して、地元小学校周辺の河川堤防の草刈りやゴミ拾い等を実施した。

また、同社施工の曾我井大谷川砂防ダム工事（発注者：兵庫県）において、地域との交流を深めるとともに、公共工事及び建設業に対する理解を深めてもらうために、現場近接の保育園の園児と職員を招いて見学会を開催した。この見学会では、工事状況や砂防ダムの説明とともに、建設機械の模範操作及び体験乗車を行い、園児たちに大好評であった。



「チャレンジ 100」表彰状



堤防の草刈り・清掃作業（杉原川）



地元園児らの現場見学会



建設機械の体験乗車